

健康管理は検診で！ 各種検診はお早めにご予約ください！ 受付時間 9:00～17:00 ☎ 0742-43-3333

予約不要	大腸がん検診	対象年齢	40才以上 ※対象の方に検診パスポート(受診票)が届きます。	申込方法	①受付にて市から送付される受診票をご持参頂き、検診料をお支払ください。②検体採取用の容器をお渡しいたします。③後日検体を提出頂いた際に、結果説明日(診察日)のご予約をお取りします。
予約不要	胃がん内視鏡検診	対象年齢	50～70才の偶数年齢 ※対象の方に検診パスポート(受診票)が届きます。	申込方法	受付時間・・・8:30～11:30(日・祝除く) ①受付にて市から送付される受診票をご持参頂き、お申込みください。②診察を受けて頂き、検査日のご予約をお取りします。
予約不要	肝炎ウイルス検診	対 象	肝炎ウイルス検査を受けたことが無い方	申込方法	受付時間・・・8:30～11:30(日・祝除く) ①受付にて市から送付される受診票をご持参頂き、お申込みください。②検査実施後、結果説明日(診察日)のご予約をお取りします。
予約必要	胃がんリスク検診	対象年齢	40～70才 ※対象年齢の方に検診パスポート(受診票)が届きます。	申込方法	予約制・検診パスポート持参 ※「胃がんになりやすさ」を調べる検査です。胃がんかどうかを診断する検診ではありません。
予約必要	乳がん検診	対 象	40才以上の偶数年齢の女性 ※対象年齢の方には検診パスポート(受診票)が届きます。	申込方法	放射線科にて予約制(13:00～17:00 電話予約)・検診パスポート持参
予約必要	特定健康診査	対 象	40才以上 ※会社からor市から受診券が発行された方	申込方法	予約制・受診券持参
予約必要	特定保健指導	申込方法	予約制・利用券必要		

社会医療法人 松本快生会

西奈良中央病院

救急告示病院24時間体制

〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-15

☎ 0742-43-3333 FAX 0742-43-8607

http://www.nishinarachuo.or.jp

診療時間 9:00～12:00 (受付時間 8:30～11:30)

休 診 日 日曜日・祝日・年末年始

面会時間 月曜日～土曜日… 13:00～19:00
日曜日・祝日… 10:00～19:00

介護老人保健施設 大和田の里

〒631-0056 奈良市丸山2丁目1220-163
TEL: 0742-51-6003 FAX: 0742-51-6013
●入所サービス ●短期入所療養介護
●通所リハビリテーション
●収容入所者数: 82名(短期入所者を含む)
●収容通所者数: 20名

西奈良中央病院附属 丸山診療所

(大和田の里内に併設)
TEL: 0742-51-7336 FAX: 0742-51-7128
診療科目/内科・循環器科
診療時間/9:00～12:00
休診日/火曜日・木曜日・第1・3・5土曜日
日曜日・祝日・年末年始

訪問看護ステーション なでしこ

〒631-0041 奈良市学園大和町5-16SENビル1F
TEL: 0742-47-6012 FAX: 0742-47-6267

訪問看護ステーション さわやか

〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-16マツヨシビル2F
TEL: 0742-40-1600 FAX: 0742-40-1601

西奈良中央病院 ケアプランセンター

〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-16マツヨシビル2F
TEL: 0742-43-3013 FAX: 0742-43-3731

こぐま保育園

〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-16マツヨシビル1F



※7:15～8:15 一部通行止区間がございます。

こころと心を結び信頼と安心をお届けする情報誌

ご自由にお持ち帰りください。

はあ〜と通心

2020
夏号
NO.47

「心の医療」をもって地域住民に貢献する。

西奈良中央病院の基本方針

- 奈良市西部地域の中核病院として、地域の医療・介護・福祉施設と連携を密接にし、地域包括ケアシステムの構築を目指すとともに住民の生命を守り、健康の増進を図ります。
- 私たちは、地域に住む人々に、医療における安全を重視し、信頼と安心を提供できる病院を目指します。
- 私たちは、「病気を診るだけでなく人を癒す病院」として患者と家族の心を思いやり、共に考え、患者中心の医療を目指します。
- 私たちは、地域住民が安心して暮らせるよう、救急医療体制の充実を図ります。
- 私たちは、自己研鑽に励み、全職員が一丸となってチーム医療を実践し、良質な医療の提供に努めます。
- 私たちは、優れた医療人を育成し、明るく働きがいのある病院を創ります。

診療科の案内

血液浄化センター

当センターは、地域の透析医療のニーズに対応し、県下有数の規模を誇る全80基の人工透析装置を配置しています。また各科の専門医と連携し、合併症への対応や入院・検査がスムーズに行える万全の体制を整えました。

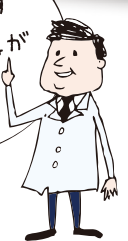
【オーバーナイト透析も行っています】

オーバーナイト透析とは、夜間の睡眠時間を利用して7～8時間透析をすることです。透析時間を十分確保できるため体への負担が少なく、十分な毒素の除去による血圧の安定化や、貧血の改善など多くの効果が期待できます。また、夜間の睡眠時間を利用することで日中は仕事や趣味の時間に使うことが出来ます。

詳細については当センターまでお気軽にお問い合わせ下さい。



お仕事を休まず
透析を受ける事が
できます。



公益財団法人日本医療機能評価機構認定
人間ドック健診施設機能評価認定

社会医療法人 松本快生会
西奈良中央病院

〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-15
TEL 0742-43-3333 HP http://www.nishinarachuo.or.jp

臨床
検査科
より

ホルター心電図検査について

心臓は一日にどれだけ鼓動を打つのか、皆さんご存知でしょうか？
個人差はありますが約70,000～140,000回、平均100,000回ほど動きます。
それを一生分動き続ける・・・心臓ってすごいですよね！ホルター心電図検査は、
その心臓の一日の動いた回数や波形で病気を見つける検査です。



■ホルター心電図検査の目的

不整脈の中には終日持続するものもあれば、一日のうち数分出現するようなものもあります。心電図検査のときに、たまたま不整脈が出れば診断できますが、たった数十秒の心電図検査ではなかなかそういう機会には恵まれません。そこで24時間、心電図を携帯し記録することで脈の乱れや胸痛時の心電図を調べることができます。

脈の乱れ

頻度が高いものに心房細動、心房性期外収縮や心室性期外収縮、房室ブロックなど

胸痛

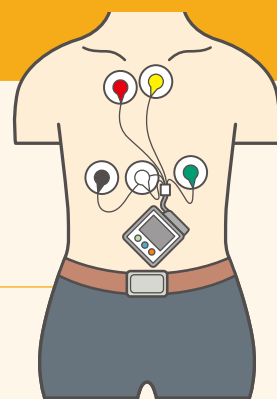
冠動脈の流れが悪くなったりすると波形の変化があります

脈の回数

徐脈(鼓動の回数が少ない)
頻脈(鼓動の回数が多い)

検査方法・結果について

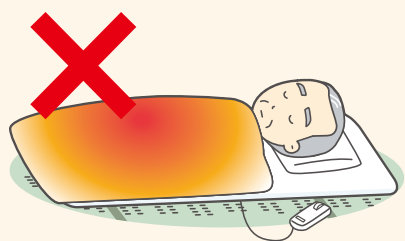
小型の機械を病院で装着して行います。よほどの力が入らない限り機械が外れることはありません。24時間の記録になりますので、翌日の装着した時間とほぼ同じ時間に機械を外します。



■検査時の注意点

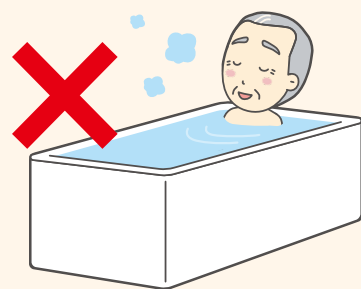
●電気毛布で眠らない

冬場などで電気毛布を使用されているときは、寝る直前で電気毛布の電源を切ってください。



●入浴やシャワーをしない

ホルター心電図装着中は入浴やシャワーができません。



●日常生活を制限しない

日常の中で発生する不整脈などを見つけるのが目的です。

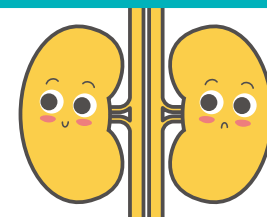


結果の解析には、一週間ほどかかります。後日、担当医から説明があります。

薬剤科
より

慢性腎臓病(CKD)を予防しよう！

慢性腎臓病(CKD)とは慢性に経過するすべての腎臓病を指します。あまり耳にしないかもしれませんが、実は患者さんは1,330万人(20歳以上の成人の8人に1人)いると考えられ、新たな国民病ともいわれています。



■腎機能が悪い人は意外と多い！

腎機能は加齢とともに低下します。特にわが国では65歳以上の男性の約30%、女性の約40%が慢性腎臓病(CKD)になっています。

■初期症状がほとんどありません。

腎臓は一度あるレベルまで悪くなってしまうと、自然に治ることはありません、放っておくと、どんどん進行して、透析治療や腎臓移植を行わなければならない可能性があります。

CKDの 主な症状

●夜間尿 ●倦怠感 ●貧血
●むくみ ●息切れ

CKDは早期発見が重要です！

慢性腎臓病(CKD)は健康診断の尿検査や血液検査で発見することが可能です。

血液検査

1 血清クレアチニン値による
eGFR※ 60未満

尿検査

2 蛋白尿など
腎臓の障害

1 2 の、**どちらか一方** または、**両方が3ヶ月以上持続する場合、CKD(慢性腎臓病)**と診断されます。

※eGFRは血清クレアチニン値と年齢、性別から求められる値で、腎臓が処理できる尿量を推定し、腎臓のはたらきを把握できる指標です。

☑チェックが多ければ要注意！ CKDチェックリスト

健康診断の尿検査で異常を指摘されたことがある。	尿の色が変だと感じたことがある。	塩辛い物を好む、高たんぱく食を好む。
頻尿である。	夜間に何度もトイレに立つ。	尿の量が変わった。
体がだるい、手足のむくみがある。	メタボリックシンドロームである。	体重が増えた。
顔色が悪い。	血圧・血糖値が上昇した。	疲れやすい。
息切れする。	タバコを吸っている。	尿が泡立つ。
家系に腎臓病の人がいる。		

高血圧、糖尿病、脂質異常症のような生活習慣病は腎機能を低下させる因子となります。生活習慣を改善することで慢性腎臓病(CKD)を予防できます。腎臓を守るために生活習慣、食生活に注意しましょう。また早期発見のため、定期的に検査を行いましょう。

薬剤科では、腎機能に応じた 薬剤量の最適化に努めています！！

お薬の中には、腎臓から排出したり、あるいは腎臓に負担をかけて腎機能を悪化させてしまうものがあります。腎機能が低下してくると、お薬の量を減らしたり、ときには中止することが必要となります。

